

なかねっぴーと

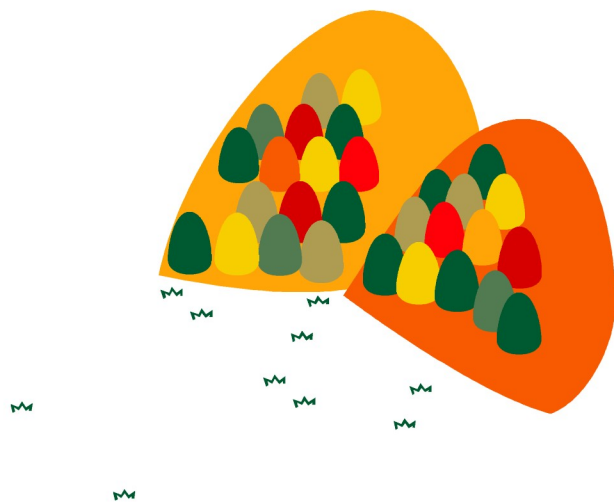
アリ



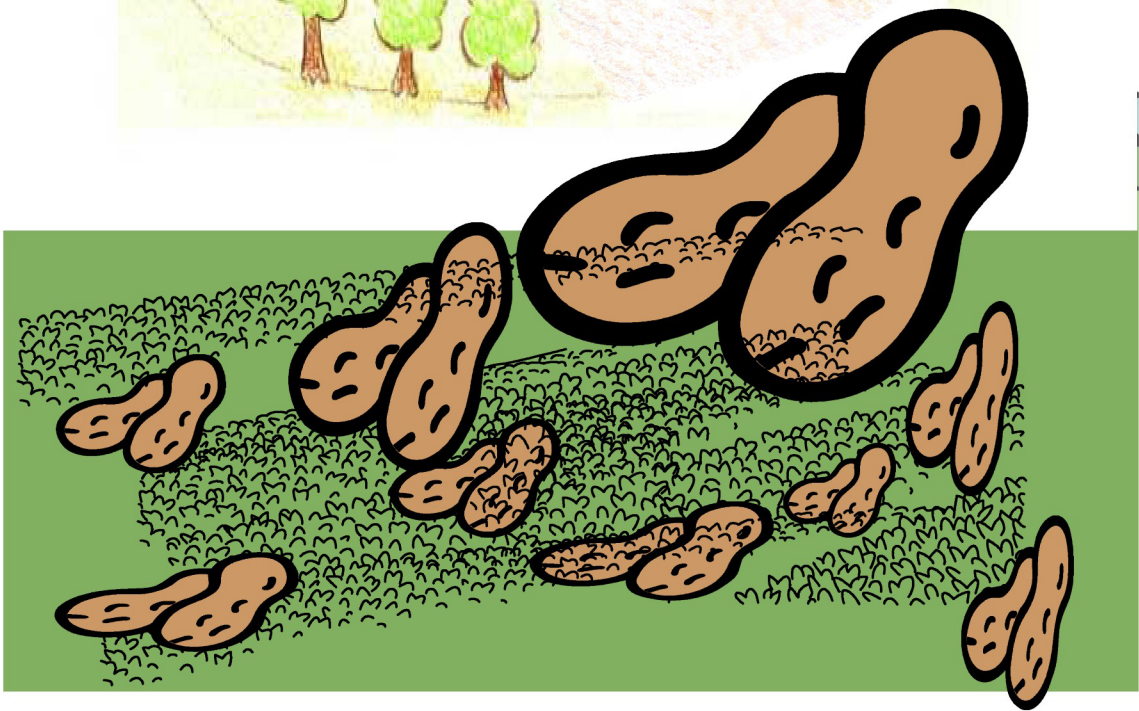
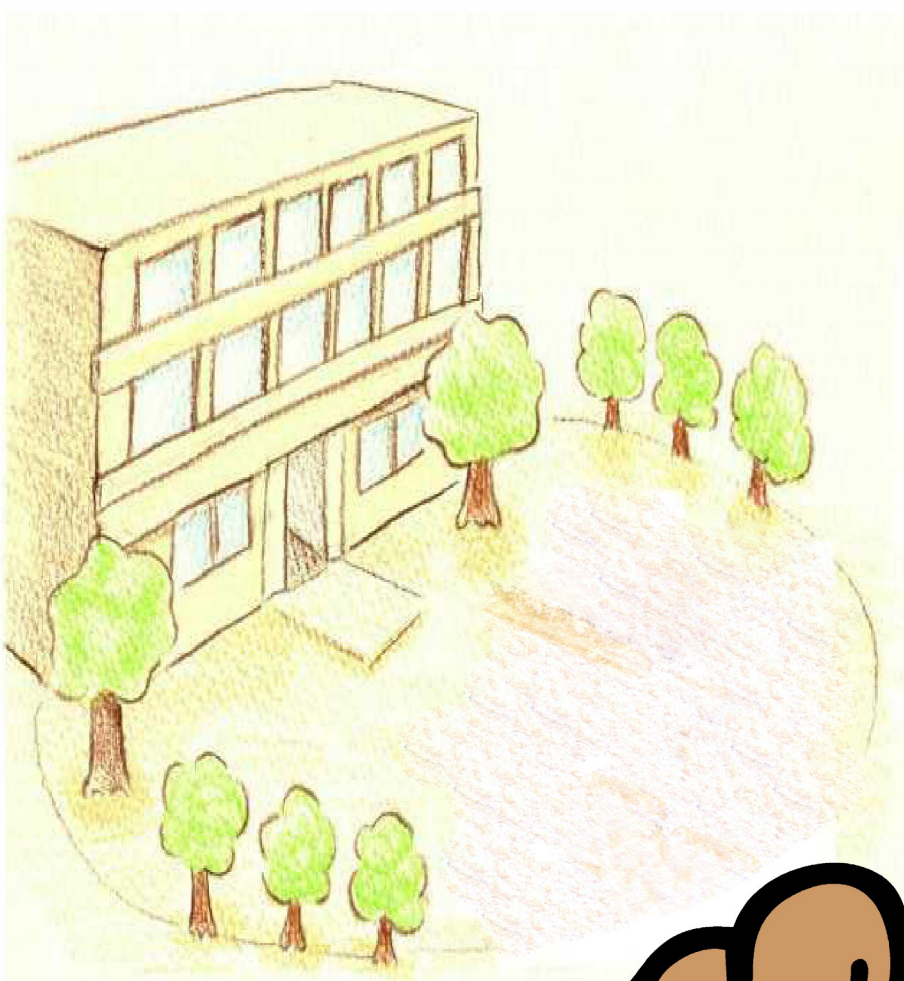


お話のはじまり  
はじまり

むかし むかし。



うしくというところに なかね しょう というがっこうが  
ありました。がっこうには らっかせいばたけがあつて こども  
たちが らっかせいを そだてていました。



ある日のことです。

「おぎゃー おぎゃー」

らっかせいばたけで とれた らっかせいのなかから かわいい  
おんなの赤ちゃんがうまれました。これをみた こどもたちも  
せんせいも びっくり。がっこうでうまれたので なまえを「な  
かねっぴー」となづけました。赤ちゃんは みんなに あいさ  
れて すくすくと そだちました。



あ

る日の

ことです。

うしくに たくさんのゆきが  
ふりました。

がっこうにも たくさんの  
ゆきが ふりました。なかねっぴーが  
こうていで 子どもたちと ゆきがっせんを  
していると 「たすけて！」と さけぶこえが  
しました。「あれ！ どこから きこえてくるんだろう」 なか  
ねっぴーが こうていを みまわしても だれも いません。  
ふと あしもとをみると アリさんが ゆきにうもれていました。  
「あ！ かわいそうに」なかねっぴーは いそいで  
アリさんを ゆきの したから たすけだしま  
した。アリさんは ないてよろこんで「いの  
ちを たすけていただいた ごおんをけっ  
して わすれません。きっと  
おんがえしをします」  
そうって  
すにもどっ  
ていき  
まし  
た。







り くじょうきろくかいの日のことです。なかねしょうは リ  
レーで ゆうしょうをあらそっていました。  
「がんばれ がんばれ なかね。がんばれ がんばれ なかね！」  
子どもたちのおうえんが かいじょうじゅうに ひびきわたりました。



アンカーの なかねっぴーが バトンをうけたそのときです。

「あ！」

かいじょうから おどろきのこえが あがりました。なかねっぴーが ころんで しまったのです。それでも なかねっぴーは いそいでたちあがり ひっしで はしりだしました。しかし いっこうに さが ちぢまりません。

「このままでは 2いになってしまう」

なかねっぴーは あせりました。しかし あせれば あせるほど はやくはしることが できません。それでも なかねっぴーは けんめいに はしりました。そのすがたをみていた 子どもたちから おおきな おおきな せいえんと はくしゅがわきおこりました。

「がんばれー がんばれー なかねっぴー。がんばれー がんばれー なかねっぴー」

なかねっぴーは うれしくなって

「よーし。まけないぞ！」

こころに ちかうのでした。



そのときです なかねっぴいーのころのなかに アリさんがあらわれました。アリさんは いそいで なかねっぴいーにまほうを かけました。

「チンプイプイ。チンプイプイ。なかねっぴいーよ 1ばんになーれ。1ばんになーれ！」

するとどうでしょう。なかねっぴいーの スピードが グングンあがったのです。あれよ あれよ というまに まえをはしっていた子と いっしょに ゴールしたのです。かいじょうじゅうが いっしゅん しずまりかえりました。どちらが 1いだったのでしょうか……。

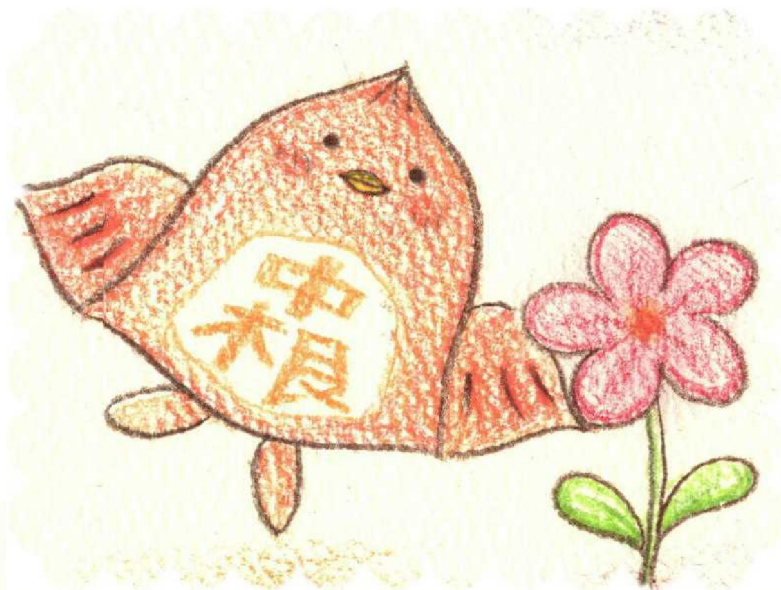
「1いは なかねしょうです」

というほうそうがありました。なんと ゴールのテープを きったのは なかねっぴいーだったのです。かいじょうじゅうが おどろきと かんせいの はくしゅで いっぱいになりました。なかねっぴいーは めに おおつぶのなみだを うかべながら とびあがってよろこびました。なかねしょうの子どもたちも たちあがって おおよろこびです。アリさんも ほっと したようすです。じつは アリさんは アリにすがたをかえた なかねしょうの かみさまだったのです。



こうして かみさまに みまもられた なかねっぴーは な  
かねしょうの 子どもたちの リーダーとなっていくのでした。





リーダーとなった なかねっぴいは まわりのすべてのひと  
たちを えがおいっぱい しあわせいっぱいに していくことを  
ここにきめたのでした。





お話のおしまい



# 牛久市立中根小学校

監修	長谷川	安	男
文	飯田	昭	夫
絵	桑名	真	理